

検査システム委員会 活動報告

2022年2月25日
検査システム委員会
委員長 湯澤 史佳

© JAHIS 2022

Agenda

検査システム委員会

- 今年度の事業計画
- 専門委員会、WG報告
 - ・臨床検査システム専門委員会
 - ・内視鏡部門システム専門委員会
 - ・病理・臨床細胞部門システム専門委員会
 - ・放射線治療WG
 - ・検査レポート検討WG
 - ・DICOM WG
- 来年度の事業計画

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

(2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

国内活動にグローバルトレンドを反映させるためDICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・展開強化。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

検査システム委員会主催セミナー、教育事業等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。

JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- 「JAHIS臨床検査データ交換規約 Ver.5.0C」改定作業着手。
「データ交換規約（共通編）」・「生理データ交換規約V3.1C_【パブコメ版】」などの方針に合わせて作業中。来年度制定を目指す。

海外活動強化とJAHIS活動との連携

- IHE-PaLM 国際会議

新型コロナ影響でF2F会議は中止。Web会議は継続して参加。

制定されたSupplement

- ①SET(Specimen Event Tracking)
- ②RPC(Radiology Pathology Concordance)

議論中

- ①DP-AT(Digital Pathology Aid for Telemedicine)

JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

• 標準マスターの整備

JLAC11普及促進のための課題整理と改善協力を行う目的で、「臨床検査項目標準マスター協議会」への参加を継続。

• JAHIS教育事業への協力

日時 : 2021年7月16日(金) 14:40-15:50 (検査システム)

場所 : Webexによるオンライン勉強会

タイトル : 「検査システム」(医療情報システム入門コース)
(臨床検査、病理診断、生理機能検査)

※同コンテンツで2回目の入門コースも実施(11月12日)

受講者アンケート結果(内容の満足度、満足+やや満足)

1回目 約92%、2回目 約97% → 好評価

• 独自の勉強会

日時 : 2021年5月21日(金) 15:00-17:00

場所 : Webexによるオンライン勉強会

タイトル : 「臨床検査システム専門委員会 勉強会
～臨床検査システムにおける標準化の現状～」

参加 : 申込60名 参加者55名

アンケート結果

Microsoft Formsによるアンケート回収 : 28名分

経験年数 10年以上 68%、3年～10年 25% →ベテランが参加
担当業務に役立ちそう 96%

専門委員会状況 会議参加29% ML登録のみ18% 今回登録3%
今後の勉強会テーマへの要望について(例)

- ・体系つけて規約の内容を説明してほしい
- ・知っておくべき関連規格との関係を掘り下げて説明してほしい
- ・インタフェースの将来性についての意見を聞きたい 他

JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

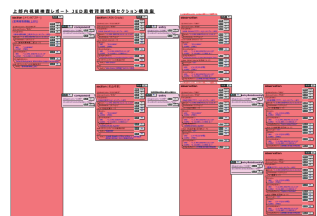
●内視鏡検査レポート構造化記述規約 Ver.1.0 制定・公開(2021年8月)【新規】

JED研究機構 田中聖人先生（京都第二赤十字病院）、IHE 内視鏡 横井英人先生（香川大学医学部附属病院）のご協力を得て、HL7 CDA R2に準拠した消化器内視鏡検査レポートの記述規約を制定した。この作業にあわせて「JED用語」にローカルコードを付番し、JED-ProjectのHPにて公開。

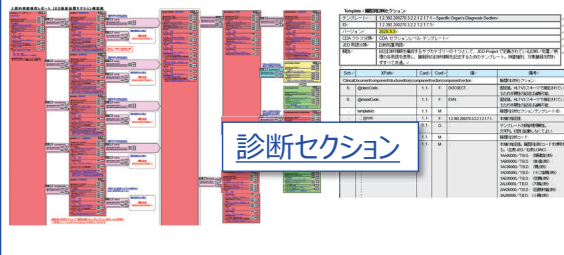
日本消化器内視鏡学会（JGES）が推進するJED-Projectで定義されたJED用語に、完全に対応した構造

JED用語

<https://jedproject.jges.net/about/terms-download/>



診断情報は臓器単位で、先生方から強く要望されている“1病変-1レコード”でエントリーレベルまで記載が可能な構造



JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

●内視鏡データ交換規約 Ver.3.2C【改定】

- JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3・JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.3.2Cとの整合性確保
- 日本HL7協会発行 HL7V2.5日本語訳見直し版との整合性確保
- 2022年2月18日までJAHISサイトでパブリックコメント募集を実施(終了)。

●IHE-International 内視鏡部門(IHE-ENDO)協力

- IHE-ENDO Technical Frameworkの普及促進を目的に、IHE InternationalのWebサイト(IHE.net・IHE wiki)の内視鏡コンテンツの整備・公開に協力した。
 - https://www.ihe.net/ihe_domains/endoscopy/
 - https://wiki.ihe.net/index.php/Endoscopy_Image_Archiving
 - https://wiki.ihe.net/index.php/Endoscopy_Report_and_Pathology_Order
 - https://wiki.ihe.net/index.php/Endoscopy_Ordering_Workflow

●IHE-J コネクタソン協力

- 審査基準の改訂、審査員派遣等に協力した。参加ベンダー増が課題。

JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

- JAHIS標準類の改定
「データ交換規約（共通編）」の改定に伴い、個別編の「病理・臨床細胞データ交換規約 Ver.2.0C」の改定に着手、2月に原案審査を申請した。
DICOM規格書最新版に対応するため、「病理・臨床細胞DICOM画像データ規約 Ver.3.1」の改定に着手、来年度上半期中の制定を目指す。
- 病理・臨床細胞関連学会・研究会での普及活動
4月の第110回日本病理学会総会、8月の第19回日本デジタル病理学会総会、5月及び9月のIHE勉強会にて、制定済みの「病理・臨床細胞データ交換規約」「病理・臨床細胞DICOM画像データ規約」「病理診断レポート構造化記述規約」を紹介した。

海外活動強化とJAHIS活動との連携

- IHE PaLM国際Web会議に毎月参加
会議で得た情報をJAHIS内に展開した。
- 制定されたSupplement
以下2つのSupplementのTrial Implementation版が2021年11月23日に発行された。
 - ①SET(Specimen Event Tracking)
 - ②RPC(Radiology Pathology Concordance)
- 議論中の項目
現在は、以下を議論中。
 - ①DP-AT(Digital Pathology Aid for Telemedicine)

JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- 日本放射線腫瘍学会（JASTRO）データベース委員会と協同学会JROD主要データの可搬フォーマットとして「JAHIS放射線治療サマリー構造化記述規約 Ver.1.0を開発、現在パブコメ中（～3月14日）



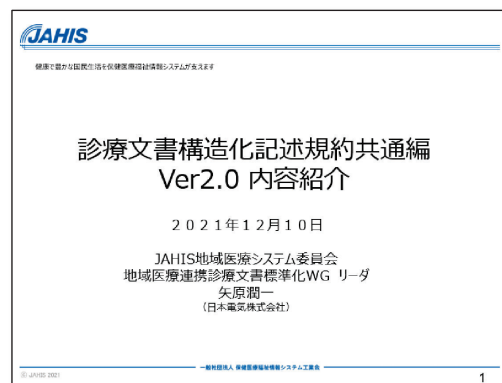
<http://jrod.jastro.or.jp/>



https://www.jahis.jp/standard/contents_type=34

JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- ・内視鏡検査レポート構造化記述規約 Ver.1.0への協力
- ・放射線治療サマリー構造化記述規約 Ver.1.0へも協力中
- ・地域医療連携セミナーにおける診療文書構造化記述規約共通編解説への協力



JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

WG再編成の目的

- ・診療文書構造化記述規約 共通編の維持改良
- ・今後の個別編開発支援（共通ルールの確認、追加）

WG構成メンバ

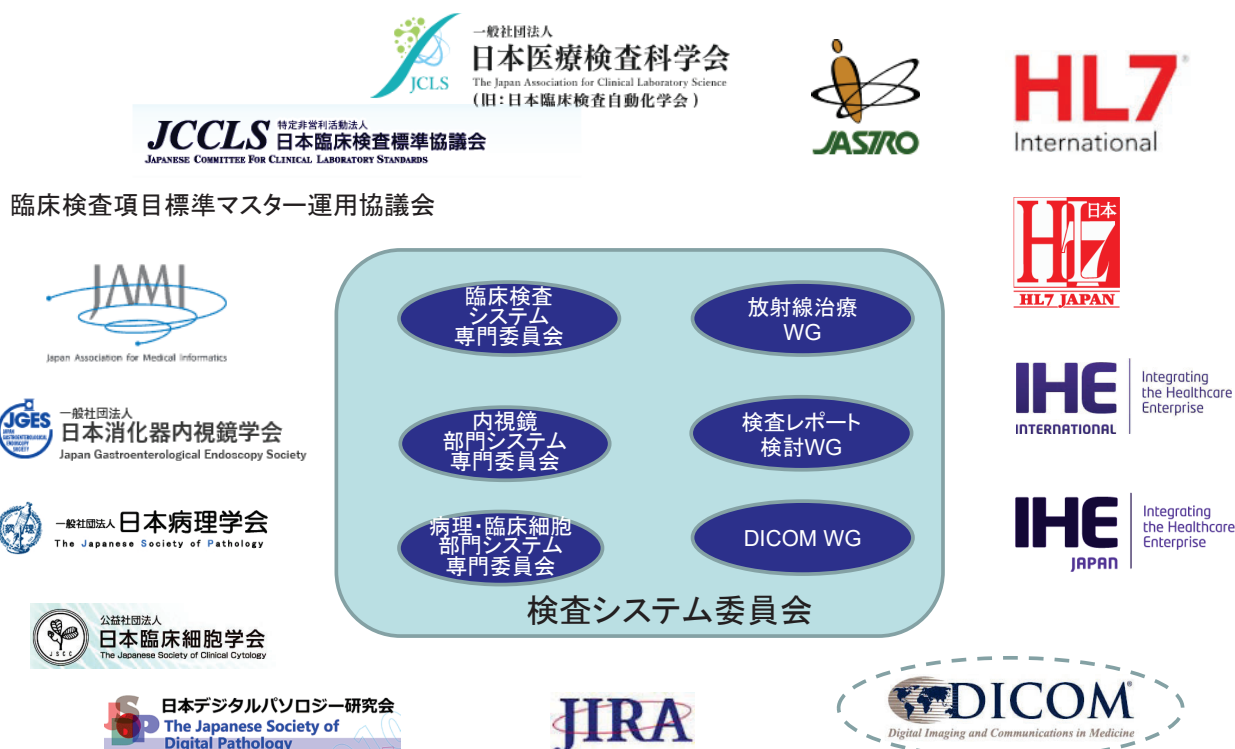
- ・新リーダー（共通編Ver.2.0開発時に担当）
- ・識者（共通編Ver.2.0開発時他にアドバイスをいただいた方）
- ・JAHIS内 CDAR2関連JAHIS標準文書関係者（含む、保健福祉システム部会、日本HL7協会）

海外活動強化とJAHIS活動との連携

- DICOM投票案件対応（件数は、2022年1月末現在）
4件のCpack(70件の修正提案)、3件のSupplement(追補)を関係WG、団体と連携・検討し、医療システム部会、国際標準化委員会の審議を経て投票対応を実施、投票結果の反映をフィードバック
- DSC、WG-13、WG-26への参画
DSC(DICOM Standard Committee)、WG-26(Pathology)に参画し、最新動向を収集し、情報発信を実施、WG-13(Visible Light)は開催なし

※DSCではJIRA、JSRTとJapanReportとして日本の活動を報告

※DICOMの使い手、常時募集中！



(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

引き続き、院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

(2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

引き続き、国内活動にグローバルトレンドを反映させるためDICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・展開強化。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

引き続き、検査システム委員会主催セミナー、教育事業等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました